



# 本学教育DXに係る取り組み事例

学習管理システムを活用した「e-ポートフォリオ」による教育効果測定

- ・卒業までの目標・成果を学生自身が入力し、蓄積することでいつでもどこでも自分の成長や振り返りが可能
- ・教員も担当学生の可視化されたデータを確認することで、アドバイスが可能

教員が入力

職員が入力

学生

教職員がチェック

学生が入力

内省を促し学修者本位の学修実現を目指す

レポート・発表資料・プレゼン映像などの学習成果を記録・蓄積することで教員・学生相互で学生自身の成長を可視化

1. 「2023年度」であることを確認
2. 「一年間を通じた目標」欄の「編集」ボタンをクリック  
※クリックすると、「保存」ボタンに切り替わ
3. 「春学期の到達状況・秋学期への目標」欄の各項目を入力
4. 入力後、必ず「保存」ボタンをクリック

# 本学教育DXに係る取り組み事例

過去データなどをアウトカム指標として活用し、俯瞰的視点から学修不振者へのアプローチにつなげる ※学修支援＝単位修得への支援

- ・Tableauを利用して、過去の出欠データを活用して複合的視点による議論を通じ、退学予備軍となりうる修学意欲低下者を未然に確認することで、教職員によるサポートへとつなげる

1年生の5回目までの全授業欠席率 今年の1年生の退学予測

当日投影

過去の欠席率から退学者予測を行い、4回目以降の欠席率が重要として教職員に過去データと現在の状況を伝えることで入学後すぐのアプローチの大事さを伝えている